

「基本高水ピーク流量の分担」に関する協議の進め方（整理）

1 進め方の概要（基本的な考え方）

基本高水ピーク流量の分担について、「河道対策（河川改修）」、「流域対策」、「貯留施設」の順に検討し、概ね、次の手順で分担流量を決定する。

各対策の具体案を設定

具体案を評価し、絞り込みのうえ、採用の可否、効果量を決定

分担流量の精査、調整（担保性等の検討）のうえ、決定

\* なお、河川整備計画については、基本高水の分担決定後、整備目標水準にあわせ、具体的対策を設定する。

	流域対策	流域対策
		貯留施設
河道対策	河道対策	河道対策

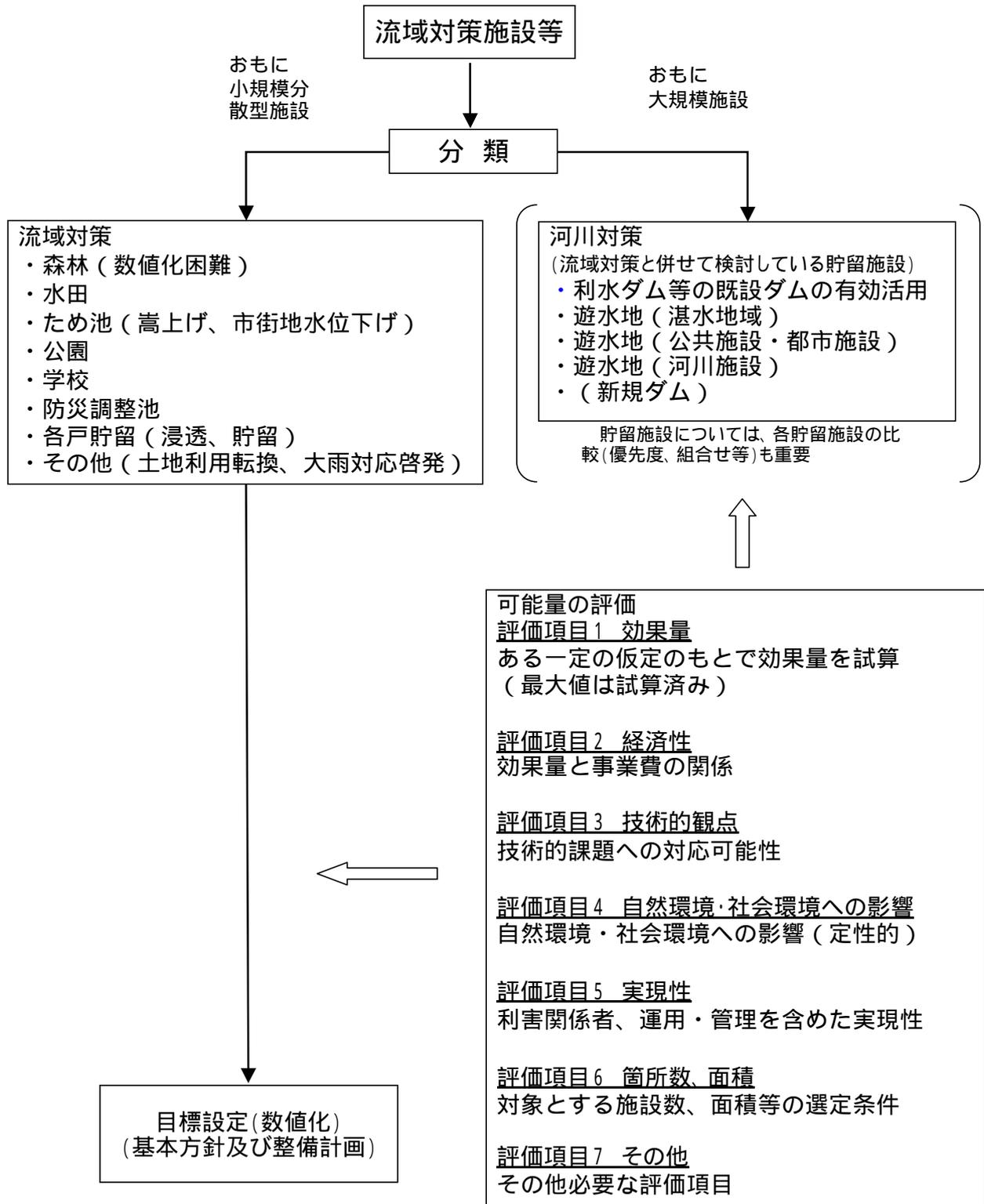
2 各対策の検討方向

項目	内容（検討方向）	備考
河道対策	現在検討している河道流量で仮置き	精査までの当面の対応
流域対策	1 1 対策の具体案を設定し、評価のうえ、採用の可否、効果量を検討	
貯留施設	遊水地、ダム具体案を設定し、評価のうえ、採用の可否、効果量を検討	

3 各対策の評価

評価項目	内容	備考
有効性	効果量	
経済性	事業費	
技術的観点	対応可能性	
環境適合性	自然環境・社会環境への影響	
実現性	利害関係者、運用・管理を含めた実現性、費用負担	
箇所数、面積	対象の選定条件	
その他		

# 流域対策の目標設定(数値化)の考え方 (参考)(案)



(参考) 第11回総合治水ワーキングチーム会議(H17.11.15)の協議結果(流域対策の検討)

流域対策の検討手順(個別対策案の課題整理表に基づく)  
 最大限見込める流出抑制の効果量の試算と検証  
 対策案実施の可能性の検討(技術的側面、社会的側面、コスト等)  
 実施が可能となった場合の管理運営主体と運用方法の検討